

職員人事

4月1日付けで職員の人事異動（173人）を行いました。本庁および支所等の係長級以上の異動、新規採用職員および退職者は次のとおりです。

※（ ）内は旧任

参事幹

参事幹兼子ども部長兼少年育成センター1所長（参事兼健康長寿課長兼地域包括支援センター1所長兼福祉事務所次長） 渡辺重雄

部長級

参事兼財政課長（議会事務局参事兼事務局次長）小野富夫、参事兼税務課長（監査委員事務局参事兼事務局次長）島田賢治、参事兼健康長寿課長兼福祉事務所次長（参事兼税務課長）岩戸啓一、参事兼中野社会就労センター1所長（中野社会就労センター）出川久、参事兼子育て課長兼子ども相談室長（参事兼子育て課長）小林治男、参事兼中山晋平記念館長（参事兼市民課長）市川一夫、参事兼消防課長・併任（消防課長・併任）西堀博幸、参事兼豊田公民館長（参事兼図書館長）武田貞治、参事兼図書館長（南部学校給食センター1所長兼豊田学校給食センター1所長兼北部学校給食センター1所長）久保広二、参事兼議会事務局次長（参事兼充れる農業推進室長）小林久勝、監査委員事務局参事兼事務局長（参事兼人権政策課長兼男女共同参画推進室長）町田修

厚生保護係長 久保利幸、人権政策課長兼男女共同参画推進室長（副参事兼人権政策課長補佐兼啓発推進係長兼中野人権センター1館長）佐藤等、売れる農業推進室長（副参事兼道路河川課長補佐兼監理係長）市川禎彦、南部学校給食センター1所長兼北部学校給食センター1所長（副参事兼地域振興課長補佐兼総務係長）小林克彦、副参事兼福祉課長補佐兼厚生保護係長（副参事兼学校教育課長補佐兼総務係長）原誠、副参事兼子育て課長補佐兼子ども支援係長（上下水道課長補佐兼監理係長）宮澤洋子、副参事兼保育課長補佐兼施設係長（保育課長補佐兼施設係長）池野正美、副参事兼人権政策課長補佐兼啓発推進係長兼中野人権センター1館長（副参事兼生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長兼博物館副館長）山田喜英、副参事兼農政課長補佐兼耕地林務係長（都市計画課長補佐兼街路公園係長）山岸功、副参事兼道路河川課長補佐兼監理係長（副参事兼道路河川課長補佐兼耕地林務係長）中沢好一、副参事兼消防課長補佐兼消防係長・併任（副参事兼消防課長補佐・併任）佐藤和義、副参事兼生涯学習課長補佐兼文化財係長兼博物館副館長（副参事兼文化財係長兼博物館副館長）スポーツ振興係長 佐々木正、副参事兼図書館副館長（図書館副館長）下田由人

課長補佐
環境課長補佐兼環境係長（長野県警察本部から人事交流）酒井陽、文化スポーツ振興課長補佐兼スポーツ振興係長（福祉課主幹兼障害福祉係長）久野常志、働く婦人の家副館長（老人ホーム高社施設長補佐兼事務長）清水史子、都市計画課長補佐兼街路公園係長（道路河川課主幹兼土木係長）金子房幸、上下水道課長補佐兼監理係長（地域振興課主幹兼市民生活係長）町田久子、会計課長

補佐兼会計係長（市民課主幹兼窓口係長）青木和美、学校教育課長補佐兼総務係長（会計課長補佐兼会計係長）酒井久、選挙管理委員会事務局書記長補佐兼選挙係長（選挙管理委員会事務局主幹兼選挙係長）月岡篤志、庶務課主幹兼防災係長（庶務課防災係長）豊田和広、庶務課主幹兼秘書広報係長（商工観光課主幹兼観光係長）柴本豊、子育て課主幹兼青少年未来係長（税務課主幹兼資産係長）神田和賢、(保務課主幹兼保育係長) (財政課管財係長) 太田敦、男女共同参画推進室主幹兼推進係長（男女共同参画推進室推進係長）佐藤紀子、農政課主幹兼農政振興係長（子育て課主幹兼青少年未来係長）杉本光正、商工観光課主幹兼商業労政係長（商工観光課商業労政係長）池田俊哉、商工観光課主幹兼観光係長（議会事務局主幹兼庶務係長兼議事係長）竹前辰彦、道路河川課主幹兼土木係長（学校教育課主幹兼施設係長）小嶋昭一、道路河川課主幹兼維持係長（都市計画課主幹兼監理計画係長）上野慎一、新幹線対策室主幹兼調整係長（農政課主幹兼農政振興係長）高野裕彦、消防課消防係長の兼務を解く・併任（消防課主幹兼消防係長・併任）高山真澄、学校教育課主幹兼施設係長（道路河川課主幹兼兼維持係長）竹内貞禎、生涯学習課主幹兼生涯学習推進係長（新幹線対策室主幹兼調整係長）奈良和夫、議会事務局主幹兼庶務係長兼議事係長（保育課主幹兼保育係長）土屋龍昭

係長級
健康長寿課副主幹（福祉課副主幹）長壽典子、健康長寿課副主幹（健康長寿課主査）高山康代、健康長寿課副主幹（子育て課主査）池田純子、福祉課副主幹（健康長寿課副主幹）竹内由香里、子育て課副主幹（健康長寿課副主幹）吉村恵利子、子育て課副主幹（子育て課主査）徳永和彦、道路河川課副主幹（道路河川課主査）石川雅之、都市計画課副主幹（都市計画課主査）小林浩、都市計画課副主幹（都市計画課主査）都市計画課副主幹（都市計画課主査）都市計画課主査、頓所敷、消防課副主幹の併任を解く（消防課副主幹・併任）三井博雄、消防課副主幹・併任（岳南広域消防組合山ノ内消防署副主幹）佐山昌永、学校教育課副主幹（学校教育課主査）小橋俊樹、学校教育課副主幹（学校教育課主査）柴本清天、中央公民館副主幹（生涯学習課副主幹）鳥羽法祐、西部公民館副主幹（図書館副主幹）松本則夫

参事幹
参事幹兼豊田支所長（参事兼財政課長）海野昇正
課長級
副参事兼地域振興課長補佐兼総務係長（副参事兼働く婦人の家副館長）丸山松良
地域振興課副主幹（上下水道課主査）池田義博
《保育所》
課長補佐級 園長
主幹兼平野保育園長（主幹兼永田保育園長）吉原恵美子、主幹兼みよし保育園長（主幹兼平野保育園長）西原芳子、主幹兼高丘保育園長（高丘保育園主幹）小林明美、主幹兼永田保育園長（みなみ保育園主幹）清水さと美
課長補佐級 主幹
平野保育園主幹（みよし保育園主任保育士）竹内久美子、西町保育園主幹（西町保育園主任保育士）古川三智子、高丘保育園主幹（西町保育園主幹）山田良子、長丘保育園主幹（長丘保育園主任保育士）小嶋久美子、平岡保育園主幹（みなみ保育園主任保育士）清水君子、たかやしろ保育園主幹（たかやしろ保育園主任保育士）下田由美子
《研修派遣》
長野県実務研修（市民課主事）中沢優季
《新規採用》
税務課 横田美帆、福祉課 関真理子、環境課 篠原弘樹、みなみ保育園 綿貫好美、西町保育園 山崎みちこ、高丘保育園 徳竹直美、平岡保育園 栗原由布子、たかやしろ保育園 春原洋香、豊井保育園 高野茜、都市計画課 佐々木泰介、学校教育課 仲條光裕、生涯学習課 大滝敦士、博物館 本村健
《退職》（3月31日付）
参事幹兼子ども部長兼少年育成センター1所長 上野豊吉、参事幹兼豊田支所長 小林時雄、参事兼環境課長 上條高明、子ども相談室長 早川幸枝、中山晋平記念館長 宮澤文男、豊田公民館長 黒崎和重、消防部消防課副参事（併任・岳南広域消防本部副参事兼豊田消防署長補佐兼庶務係長）清水正志、財政課主幹 高橋和美、主幹兼みよし保育園長 萩原優子、主幹兼高丘保育園長 土屋美佐子、松川保育園主幹 福原久美子、平野保育園主幹 湯本教子、平岡保育園主幹 中山千江子、高丘保育園主任保育士 小嶋かよ子、南部学校給食センター副主幹 勝山昭男、西部公民館副主幹 小林厚、北部学校給食センター調理技師 浅野徳子、生涯学習課主任主事 小林美恵子、健康長寿課主事 小林千恵

教育委員会だより

No.37 編集／中野市教育委員会

教育を拓く知恵

今年度は、「教育を拓く知恵」をテーマに、教育を取り巻くさまざまな問題がある中で、子どもたちに対する支援のあり方について考えてみたいと思います。今月号では、今年度の教育委員会の重点施策の内容について取り上げてみます。

平成22年度教育委員会の重点施策

平成22年度、教育委員会の施策・事業の推進にあたって、特に力を尽くしていきたいことを挙げてみたいと思います。

一、教育懇話会を開催します

子どもたちの数が減少していく中で、変わっていく中野市の学校環境を中心に、今、直面しているさまざまな教育問題、学校や保護者だけでは解決できない問題を含めた懇話会を、中学校区単位で開催します。

次代を担う子どもの育成を中野市全体で取り組むことが望まれます。懇話会へは、子

どもが就学している家庭も、いない家庭も参加いただき、地域の学校の教育をどう盛り上げていくかを懇談したいと思います。

二、学校と教育委員会の連携をさらに密にし、子どもたちを支援します

就学指導、不登校対策、学校への指導等を専門的に行う、指導主事職と指導主事を補佐する職員各1人を教育委員会事務局に新たに配置し、子どもたち・保護者の悩みを学校と教育委員会が連携し、これらの問題に対応します。発達障害の児童生徒、介助を要する児童生徒など特別な支援を必要とする学校に、市費で配置している支援員を増

員し、子どもたちを支援します。また、各学校が児童生徒や地域の実情等を踏まえ、創意工夫を活かし、特色ある教育、特色ある学校づくりを支援するため、今年度も継続して必要な経費を負担します。

三、小中学校のトイレの洋式化に着手します

学校は、子どもたちにとって安全でなければなりませんし、過ごしやすい環境でなくてはなりません。

今年度から3年間で、小中学校の和式トイレの一部を家庭でも普及している洋式トイレに改修します。

また、破損・老朽化した箇所ならびに環境改善のための施設整備を計画的に実施していきます。

なお、いつ起こるかわからない地震に対応するため、市内のすべての小中学校（15校）の校舎・体育館の耐震補強工事を昨年度で完了することができました。

四、生涯学習の特色ある学びの場を提供します

生涯にわたって豊かに生きていくため、自らの向上と活動自体に楽しみを見いだす市民の主体的な学習活動を支援するため、公民館では、各

種講座をはじめ、子どもたちが一流の指導者によるミュージカルを通して、子どもの表現力の高まりと自分に自信の持てる人間への成長を願い、子ども音楽講座「ミュージカルを楽しもう」を開催します。博物館では、各種講座や体験教室をはじめ、大英博物館や国立博物館に展示された、姥ヶ沢遺跡から出土した土偶を中心に、県下の土偶を集めた「土偶展」を開催します。

五、読書に親しむ活動を推進します

平成22年の国会において、平成22年を「国民読書年」と定める決議がされました。文字・活字文化は、人類の長い

歴史の中で蓄積してきた知識や知恵の継承及び向上、豊かな人間性の涵養に欠くことのできないものであると言われています。市立図書館では、一人でも多くの市民に利用していただける図書館を目指し、読書に関するさまざまな市民活動の活性化に努めています。



▼平成22年度入学 児童生徒数		
中野小 128 (-19)	南宮中 197 (-14)	
日野小 18 (-10)	中野平中 124 (-29)	
延徳小 33 (+8)	高社中 74 (-53)	
平野小 99 (+10)	豊田中 42 (-2)	
高丘小 29 (-8)		
長丘小 15 (±0)	※児童生徒数は平成22年3月26日現在	
平岡小 40 (+7)		
科野小 19 (+11)		※かっこ内は、平成21年度の卒業生数に対する増減
倭小 9 (-8)		
豊井小 18 (-10)		
永田小 13 (-1)		